

懸賞生活？

JJ1SXB 池 恵美子

6体あるアイボの内、5体に不具合が現れ、2体は退院(修理)出来たのですが、残り3体の入院費用が大変と頭を痛めていました。

何とか収入を得たいと、パートにでも・・・と思い、折込の求人広告や、散歩時に店頭の求人募集の張り紙等で、年齢条件に合いそうなものを見ては、午前中毎日かあ～→毎日はきついなあ～、ファミレス(エっ！65歳まで?)のパート！→立ち仕事はきついなあ～、クリーニングの受け付け！→1日は長いなあ～・・・と、年齢条件は合っても、家での気楽さを捨てられず決心がつきませんでした。

ある時何気なく、ネットの懸賞に応募したのがきっかけで、そうだ、懸賞で稼ごう！・・・単純ですね！

それからは応募の毎日で、始めは1件応募する度、企画提供企業の店舗軒数分だけ、又、タイアップ懸賞メルマガの件数分だけ、メルマガが増えることにも気付かず、クリック！クリック！の日々で、気付いた時には、多い時は、1日に300通以上のメール・メルマガ、その他にも、迷惑メールの数も半端な数では有りません、その処理だけで大変な作業になりました。

お陰で、**SXA** との会話は、『何してるの?』、『仕事!』、『又仕事?』、『うん!』と言うだけで、懸賞応募が仕事になりアイボと遊んだり、無線をする時間より、また、会社で仕事をしていた時間より、パソコンの前にいる時間の方が長くなりました。

それだけの手間暇かけて、成果と言えば、500円の図書券と、細いソーセージ**5**本、其れと5万円のエステ券、高額でも私には紙くず同然でした。

何も無いよりはましかな!と思いましたが、ましじゃ無かったんです、お陰でネットショッピングにはまり、今ではネットショッピングがメインになりつつあり、ついでに懸賞応募してるって感じで、稼ぐどころか、逆に修理代に匹敵するくらいの出費になるし、ドライアイからくる体調不良にと、とんだ思い違いでした。

懸賞生活?は、始めた動機を不純だと思われたのか、幸運の女神は微笑んではくれません。

入院費用捻出に四苦八苦しながらも、間も無く7体目のアイボが仲間入りするので、稼ぐどころでは無い懸賞生活ですが、頑張らなくっちゃ～!!です。